

令和元年度 第2回学校運営協議会

	○開催日時 令和元年12月13日(金) 10時35分～
	○開催場所 高木小学校 図書室
	○出席者
	(委員) 会長：北本修吾 芥川公明 田尻孝子 緒方章二
	野田隆寛 鎌田和子 高田一道 大窪利幸 中島理恵
	(学校) 福田校長 金崎教頭 佐藤(記録)
1	開会
2	校長あいさつ
福田校長	学校運営協議会の皆様には、日頃からご協力いただき、ありがとうございます。 前回の会議では、子供のことについて詳しく話す時間がなかったが、今回は児童の様子も紹介したい。 コミュニティスクールとして動き出し、本会の役割はますます大きくなってきた。 今日は、次年度の構想についても説明し、その中で、この会をどうしていくかも触れていきたい。
3	学校説明(司会：北本会長)
(1)	今年度の取組から(説明：金崎)
	・児童数 4月：115名→12月現在：120名→3学期は122名に
	・「学校地域協働活動」関係・年間計画について P1～2
	・本校の特色「英語」について
	・本校専属の英語教育指導員
	・全クラスで英語の授業参観 H30年度～
	・研究発表会 H30.10.25
	・広東語講座・集団ゲーム講習
	・令和元年度～「教育課程特例校」へ
	・学校教育目標
	・今年度のキーワード
	地域とともにある勢いのある学校
	積極的な情報発信
	4つの「あ」
	・H29 学校訪問より 学校の課題
	課題①主体的な学習態度と家庭学習の習慣化 P3～5
	・授業改善について 1時間1時間を大切にした授業

	たかきこの学習過程	
	学習訓練・「高木っ子の学び」	
	・個人差への対応	ぐんぐんタイム
		「あこがれ学習会」
	・学力を支えるその他の取組	家庭学習の充実「がんばりシート」
		読書月間・貸し出し数調査
		生活習慣「いきいき大作戦」
	課題② 夢や目標に向け努力する態度や自尊感情を高める取組	P6～8
	・本物に触れる機会	アウトリーチ、かわせみ座、鳥獣保護センター訪問
		お話講習会（6月）→町・郡童話発表会
		御船町英語劇、認知症サポーター講習
		化石発掘体験、サントリー「水育」、陶芸教室
		ストレスマネジメント講習
	・異学年交流	縦割り班活動、歓迎遠足（校区オリエンテーリング）
		夏祭り、おもちゃ祭り（2年生）、秋祭り（1年生）
		ハロウィンパーティ
	・学習発表会	英語劇（1年生）
	・「四つの『あ』」児童会の取組、登校班でのスローガン	P9
	課題③ 地震後の体力低下、生活習慣の悪化	P10～11
	・朝ラン、朝なわタイム	
	・放課後わくわくアクティブタイム	
	・高木っ子いきいき大作戦	
	課題④ 国版コミュニティスクールへ向けた取組	P12～15
	・これまでのコミュニティスクールの経緯	H31～国版へ移行
	・各行事・取組について	
		ふれあい交流会、ふれあい祭り、下高埜神社相撲大会
		運動会ダンス指導、PTA 教育講演会、「熊本地震から学ぶ」
		飯田山トレッキング、学校応援団（そろばん、ミシン、修繕ボランティア）
		読み聞かせ
	・情報発信 HP 一日あたり200アクセス以上に、学校便り	
	・学校評価について	P16～17
	良かった点・・・「高木小でよかった」「できた喜び」「外国語活動」「運動」	

令和元年度 第2回学校運営協議会

	悪かった点・・・「自分の考え」
(2)	今後の取組
	○「確かな学力の育成」に関する今後の取組
	・国語科の授業改善
	・「新学習指導要領」へ向けた研修
	・家庭学習の習慣化・質的向上
	・メディア利用について
	○「豊かな心の育成」に関する今後の取組（地域連携も含めて）
	・「四つのあ」を中心とした取組の充実
	・道徳の時間の工夫（保護者啓発も含めて）
	・いじめ・不登校の未然防止
	・地域の人材・教材の発掘
	○「健康教育の充実」に関する今後の取組
	・「放課後わくわくアクティブタイム」の充実
	・体育授業の工夫
	・「高木っ子いきいき大作戦」（母親部と）
(3)	その他
	・「99.6%」・・・4月から9月までの出席率 ほぼ欠席がない学年もあった。私たちの励みとなっている。
4	意見交換
芥川副会長	この99.6%という数字は、これまで一丸となって取り組んできた成果だと思う。 「ふれあい祭り」では、2年生がいきいきと楽しんで取り組んでいる姿があってよかった。
北本会長	雨が降り出して大変だったが、保護者協力があってよかった。 子どもたちのパワーに、地域の方も喜ばれた。
金崎教頭	地域の人に温かく見守ってもらい、元気を届けることができた。 子どもたちも見てもらうことで、やる気が出た。

令和元年度 第2回学校運営協議会

緒方区長会代表	先日、「子ども議会」で高山の田畑さんが、町長へ意見を述べることであり、当日は欠席だったが、中城議員も発言を取り上げてくれた。内容は、産神社近くのホタルを守りたい、広めたい、地域をよくしたいということで、ここまで考えてくれていたのかと、ぜひ応援したいと考えている。産神社も言い伝えのある神社。昔は女性の参拝者も多かった。地域についての学習をしてほしい。
福田	このホタルの件については、教育長からも連絡があった。学校では、地域の学習、水の学習として、4年生で取り組めないかと考えている。
野田老人会代表	9月の「ふれあい交流会」はよかった。これからもずっと続けてほしい。
高田評議員	「挨拶」について、他の項目に比べれば悪いのかもしれないが、自分は児童と顔なじみなこともあり、よく挨拶してくれる。2学期は向こうから挨拶してくれるようになり、声も大きくなったと思う。 陶芸教室で感じたことは、低学年には恐竜を作らせているが、自分が描いた平面の設計図を立体に作り直す作業が上手になってきた。考える力が育ってきたのでは。また、作るものも複雑になってきている。
鎌田評議員	ふれあい交流会で、おはじきをただ、色分けしたり並べたりしている様子を目にした。遊び方を知らないのかな、難しいのかなと思った。登下校の見守り隊として、自宅は通学路から離れているので、学校の近くで行った。児童がどこを通過して学校に来ているか知ることができてよかった。
田尻民生児童委員代表	4、5年前は、不登校の児童が3名ほどいた。中学校でも、不登校や保健室登校をしていた。現在は「学校が楽しい」「高木小でよかった」と答える児童が多く、いい方に変わってよかった。授業参観での子どもたちの様子も落ち着いており、この姿が良い結果につながっているのではないかと。
大窪 PTA 会長	保護者として、6年生の子どもたちが仲良く過ごしていると思う。今日の持久走大会の様子からもうかがえた。一人一人は生意気な面もあるが、お互いによくコミュニケーションがとれている。親としてありがたい。
中島母親部長	「高木っ子」という言葉がいい。高木小は、地域の方と接する機会が多い。折々で相撲大会や祭りなどがあり、子どもたちが参加している。中学校でも、地域の方とのつながりが持てるようになるといい。これからも続けてほしい。

令和元年度 第2回学校運営協議会

北本	質問や意見はありませんか。
高田	猿の出没情報があるが、どうなったか。1年生だけで下校することがあり、心配。
金崎	メールで知らせている。これ以外にも多く目撃情報がある。児童には、刺激しないように日頃から指導している。
田尻	以前に比べ、雨の日に保護者が車で送迎していることが多い。自分の力で歩いて登校する方が、子どもにとっても良いと思うのだが。最近は、登校班の中で送迎の当番を決めているという話も聞く。
福田	確かに、雨の日の送迎は多い。ただ、もっと多い学校もある、比較で言えば、そこまで多くはないといった印象。また、甘木の鶴の児童は、安全面からアパートまで送迎となっている。自分としては田尻さんと全く同感。以前は学校便りで保護者向けに書いたこともある。しかし、安全面等考慮すると、「絶対に徒歩で」とは言えない面もある。あまりにひどいようならば、保護者啓発も必要だろう。
北本	トレッキングの時、転入生の保護者と話す機会があった。以前は大規模校で、発表会などで我が子が話す場面を見ることもなかったが、高木では発表している姿を初めて見た、と話をされていた。
福田	(今後の取組・方向性) <span style="float: right;">p18～28</span> 学校では「働き方改革」が進められている。そこで、次年度「ブロック制」を考えている。資料のP18から自分の考えを説明しているので、読んでほしい。組織としてはP24にあるような形。できるところから少しずつ取り入れていこうと考えている。 学校と地域が、目標を共有し、一緒に取り組んでいくことが大切。子どもたちの「自律」、そして「自尊感情と他者意識」、これらをめざしていこうと考えている。 これからも、理解と協力をお願いしたい。
5	給食試食会（校長室）
6	閉会